

鎌ヶ谷市政策評価表

政策の名称	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	政策担当マネージャー	生涯学習部長
重点政策該当有無		マネージャー氏名	山口 清

I 改革・改善内容(=政策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民の芸術活動の発表の場、芸術文化活動の鑑賞施設として「文化ホール」の設置をはじめ、施設の改修・拡充を進める一方、対応できない施設については、学習活動、スポーツ・レクリエーション活動、芸術・文化活動の満足度を高めるため、他団体の施設の利用などを検討する。また、「下総小金中野牧跡」の整備計画についても早急に取りまとめる。	③改革・改善内容	「きらり市民会館(きらりホール)」や弓道・アーチェリー場、給食センターなど新施設については円滑な運営に努め、陸上競技場や東初富テニスコートなど既存施設の老朽化に対しては計画的な修繕・改修を進める。
②①に基づく取り組み結果	文化施設として、きらり市民会館(きらりホール)の設置、新たなスポーツ施設として弓道・アーチェリー場の設置、その他、市営庭球場の1面増設及び全天候型への整備などを実施した。また、「下総小金中野牧跡」整備計画は現在、策定中である。		

II 政策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	全ての市民がいつまでも明るく健康で暮らせる社会を実現する。
②政策の概要	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会の実現のため、生涯学習の推進、生涯スポーツ・レクリエーションの推進及び芸術文化の振興を図る。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	学習活動、文化・スポーツ活動に対する意識や関心が高く、活動拠点となる施設の設置及び改修の要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成24～25年度の施策の成果	図書館資料貸出数が伸び悩んでいる状況にあるが、学習施設利用者数及び文化祭等の参加、発表者数、指定文化財数が増加しており、文化、スポーツ関係では一定の成果が出ている。						
②施策成果指標	指標名称	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値(27年度)	
	1 生涯学習をしている市民割合	%	—	—	55.1	67.0	
	2 学習施設利用者数	人	341,457	317,111	330,119	385,000	
	3 図書館資料貸出数	冊	443,054	445,703	410,564	435,000	
	4 1年間継続してスポーツをしている市民割合(市民意識調査)	%	—	—	21.4	23.0	
	5 余暇時間にスポーツを行っている市民割合(市民意識調査)	%	—	—	12.6	13.5	
	6 市民文化祭等市主共催芸術文化事業参加・発表者数	人	1,600	1,664	1,910	2,500	
	7 指定文化財数	件	29	29	31	30	
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
14							
③政策の事業費	平成24年度決算	平成25年度決算	市民一人あたり事業費(25年度決算)		平成26年度予算		
事業費(千円)	500,227	1,793,547	17		912,235		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	活動施設の不足及び既存施設の老朽化により改修が必要となっている。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	文化・スポーツ活動拠点となる施設を設置した。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する施策	施策2 生涯スポーツ・レクリエーションの振興		
④上記方向性の説明	老朽化した既存施設の抜本的な改修工事を実施することにより生涯スポーツの振興を図る。		